

2026年1月15日

各 位

会 社 名 株式会社エイチームホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 林 高生  
(コード番号: 3662)  
問 合 せ 先 執行役員 社長室長 森下 真由子  
(TEL. 052-747-5573)

## **株式会社エイチームホールディングス 機関投資家ミーティング よくある質問と回答 (2025年12月)**

2025年12月に実施した機関投資家との1on1ミーティングにおける主な質問と回答について、下記の通り開示いたします。本開示は株主・投資家の皆様への情報発信を通じてご理解を賜ること、フェア・ディスクロージャーを目的としております。なお、質問及び回答に関して、一部内容・表現を加筆・修正しております。

記

### **業績について**

#### **Q. 2026年7月期の業績予想に対して、第1四半期の業績をどのように考えていますか？**

A. 2026年7月期の業績予想に対して、2026年7月期第1四半期の業績は概ね想定通りの着地であったと考えております。2026年7月期の調整後EBITDAは、2025年7月期の調整後EBITDAの実績である1,719百万円に対して前年同期比で87.2%の1,500百万円と予想しております。2026年7月期第1四半期の調整後EBITDAは、2025年7月期第1四半期の調整後EBITDA310百万円に対して前期同四半期比で92.5%の287百万円であるため、予想に対しては概ね想定通りに進捗していると認識しております。セグメント別の状況は、デジタルマーケティング事業の自動車関連事業において集客競争の激化に伴う広告宣伝費の増加により、当初の予想に対してやや出遅れたものの、エンターテインメント事業における既存タイトルの効率的な運営やコスト抑制の実施等により、黒字を維持いたしました。

## M&Aについて

---

### Q. 株式会社シグニティの運営する「PUSH ONE」「スマホロック画面広告」について教えてください。

A. 「PUSH ONE」はアプリ不要のプッシュ通知サービスであり、デジタルマーケティング支援における新規顧客の拡大のための商材、既存顧客向けのクロスセル商材として有用であると考えております。また、「スマホロック画面広告」はスマホのロック画面を活用した広告ネットワークであり、幅広い顧客に向けて提供・導入可能な商材であると考えております。また、事業間におけるシナジーのイメージとして、当社の既存事業にも導入することで、ユーザーを再来訪させるきっかけを作り、既存事業のユーザーに対するナーチャリング強化も可能であると考えております。

## 借入金について

---

### Q. シグニティ社の取得資金として 1,000 百万円を銀行借入で調達した理由を教えてください。

A. 2024年12月3日に開示した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」の通り、当社は適切なレバレッジ活用及び株主資本の圧縮を通じて WACC の低減を目指しております。その方針に則り、資本構成の最適化に向けてシグニティ社の取得資金として1,000 百万円を銀行借入にて調達いたしました。

以上